

水が湧き出る
石工の里

櫛野周辺

既に鎌倉時代から人々の往来があり、島原藩の参勤交代や坂本龍馬なども行きた記録もあり、肥後藩の岩本番所から瀨瀬の干渡橋までを言います。この道を歩き、当時の往来を想像してみてください。



石切場
櫛野石と櫛野石工

櫛野諏訪神社

櫛野の氏神さまとして、石工の里のシンボリックな「石神さん」立派な灯ろうやこま犬など石造物が多くみられる。



三池街道(往還)

約9万年前の阿蘇山の噴火による火砕流が冷えて固まった阿蘇溶結凝灰岩を「櫛野石」と呼ばれ、加工しやすく風化しにくい良質の岩として重宝された。幕末から昭和にかけて活躍した櫛野石工は、南筑後、熊本県北部の多くの神社などの鳥居、石橋、水路、石垣などを残している。櫛野地区では石切場跡が20カ所ほど見られる。

ニレ科の落葉高木で秋に実を付ける。樹齢500年に近い。木の横のえびす様(嘉永7年)が見守っています。



土穴の工ノキ
(福岡県指定天然記念物)

工ノキの根元に祀られる

えびす様

鳴川水源の森

三池山は、多くの湧水場があり、その源流から生まれる「鳴川」が流れ、夏にはホタルが乱舞します。湧水が溢れる鳴川の上流には、地元の方々が整備した桜並木やモミジの森、せせらぎにはカラフルな花が咲き乱れています。子どもたちの体験活動の森として親しまれています。

ため池めぐり



「ため池めぐり」は、おひまわりや、おまじや、お草花など、自然めぐり。



蓮華寺の本尊「阿弥陀如来」由来、堂宇は天台宗にて開祖創設は不詳である。元禄7(1694)年本尊寺に帰依して「恵空」改名、本尊並びに寺号を受けて今日に至る。

領地として教楽来、櫛野、勝立、萩尾、白井、駿馬を納め石高約1万石を取り立てていた。現在は樹齢300年の柿木や井戸が残っている。



日蓮山 蓮華寺

本尊「十一面観世音菩薩」1748年(寛延元年)長崎皓台寺十一世「古岳峻大和尚」開山。天台宗より曹洞宗となる。



蓮華寺



中村代官屋敷跡

山深く心清く
巡礼古道

三池奥の院周辺

三池奥の院の周辺には、
三池奥の院の奥の院院主から、
真言宗僧侶で欲しい言葉として教わりました。
信仰の山と称される三池山は、巡礼古道と
呼びにふさわしい山道が点在します。
三池奥の院に続く道もその一つです。

この言葉は、三池奥の院に通じる山道で、
真言宗僧侶である奥の院院主から、
心に浮かべて欲しい言葉として教わりました。
信仰の山と称される三池山は、巡礼古道と
呼びにふさわしい山道が点在します。
三池奥の院に続く道もその一つです。



三池堂

三池奥の院は、お大師信仰の霊場として、
昭和初期に開山したそうです。ご本尊(ご祭神)
として天照大神の御子である粟島大明神が祀られており、
いにしえから伝わる神仏習合の霊場となっています。
境内には、**かゆえ地蔵**をばじめ、多くの石地蔵様の他に、
小さな鳥居があり、この二鳥居を願いを込めてくぐれば、
病気平癒、安産、厄難退散、諸業繁栄などに
霊験あらたかと言いい伝えがあります。



かゆえ地蔵

巨石群の森

三池奥の院から山頂に向かう
登山道周辺には、不動明王を頭上に仰ぐ
お滝場や祠を祀った巨石群が鎮座し、
森羅万象に神が宿るような雰囲気がかもし出しており、
信仰の山三池山を実感することができます。

三池山は、三池奥の院の奥の院院主から、
真言宗僧侶で欲しい言葉として教わりました。
信仰の山と称される三池山は、巡礼古道と
呼びにふさわしい山道が点在します。
三池奥の院に続く道もその一つです。

森の恵み

身近な森林は、様々なことに役立っています。現在では気候変動、生物多様性の損失といった問題が大きく取り上げられます。まず森の恵みを活かすことが大切です。

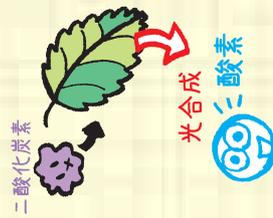
水を貯える 水質を浄化する

なぜ湧水や川の水は枯れないの？
長く雨が降らなくても木が
育つのはなぜ？

森が雨水を貯え、湧水として平準化し、また森の土壌の濾過で水質を浄化してくれています。

人間に必要な 酸素をつくる

植物は光合成を行い、人間などが吐き出した二酸化炭素を酸素にかえています。地球温暖化などの地球環境などを調整しています。



気温の調整

森林の蒸発散作用により夏の気温を下げ、冬の気温を上昇させます。また暴風や防音などの効果があり、快適な環境にしてくれています。

人を癒す

緑、空気、水、森の中など自然空間は、心を癒し、パワースポットとしてエネルギーをもたらしてくれています。



食糧や木材などの 資源をつくる

材木や紙の原料、キノコや山菜などの食糧、マキや炭の燃料、肥料、薬草、工芸品の材料など貴重な資源の源になっています。



様々な 生き物の大切な 生息の場になっ ている

森林は樹木や木などの植物や昆虫、鳥、動物、土壌微生物など様々な生き物の生息・生育の場となり、生態系を守っています。



これらの働きによって知らず、知らずに森の恩恵を受けています。この森の機能がなくなったらどうなるのでしょうか。

森は、動植物などの共存と多くの地域の方や様々な団体などの活動などによって守られています。しかし、活動者の減少などにより森の荒廃が進んでいます。

次の世代に、豊かな森を引き継いでいくことが大切です。

環境活動

森や登山道などは地域の人も環境ボランティアなどによって守られています。

自然の中では、雨風により登山道の土が流され倒木や草が茂るなどで、何もなければ荒れて通れなくなり、誰かが、倒木の処理や階段を作ったり、草刈りするなどの整備により安全に通ることが出来ます。

環境活動の重要性

杉林も間伐や枝打ち、下草刈りなどの整備が必要です。

野焼きの機能

阿蘇の高原では冬に「野焼き」のニュースが流れるが、三池山の茶白草原でも、毎年12月に野焼きが行われています。野焼きを行うことで草原の森林化などを防いでいます。



主な年間整備活動(予定)

7月	鳴川山コースの整備 (三池山守り隊しんせいの会)
8月	鳴川山コースの整備 (三池山守り隊しんせいの会)
9月	鳴川山コースの整備 (三池山守り隊しんせいの会)
10月	鳴川山コースの整備 (三池山守り隊しんせいの会)
11月	鳴川山コースの整備 (三池山守り隊しんせいの会)
12月	鳴川山コースの整備 (三池山守り隊しんせいの会)
1月	鳴川山コースの整備 (三池山守り隊しんせいの会)
2月	鳴川山コースの整備 (三池山守り隊しんせいの会)
3月	鳴川山コースの整備 (三池山守り隊しんせいの会)
4月	鳴川山コースの整備 (三池山守り隊しんせいの会)
5月	鳴川山コースの整備 (三池山守り隊しんせいの会)
6月	鳴川山コースの整備 (三池山守り隊しんせいの会)

整備に参加できる方は、活動ができれば多く参加してください。三池山守り隊のホームページをご覧ください。

上記の活動団体への連絡をお待ちしています。